

法人設立 53 回

2025 年度公益社団法人神奈川県栄養士会定時総会

議 案 書

2025 年 5 月 28 日

関内新井ホール

公益社団法人 神奈川県栄養士会

(スローガン)

「県民の健康づくりを推進しよう！」

- ◎ 食育の推進
- ◎ 在宅栄養ケアの推進
- ◎ 災害時における県民の健康維持への協力
- ◎ 栄養ケア・ステーションの拡充
- ◎ 人材育成研修の充実

(標 語)

今日の栄養、明日への健康

定時総会日程

1. 日 時 2025年5月28日 13:00～16:00
2. 場 所 関内新井ホール
3. 出席者 公益社団法人 神奈川県栄養士会正会員
4. 議 案 第1号議案 2024年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに
財産目録等承認の件
監査報告
5. 報告事項 (1) 2025年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み
について
(2) 2024年度事業報告書、収支計算書について

6. 日 程

12:30～13:00	受 付
13:00～14:00	特別講演 栄養技術研修会 演題 「多職種連携による災害時の保健活動及び栄養・食生活支援活動について～能登半島地震における被災地支援活動を通じて～」 講師 神奈川県健康増進課 健康づくりグループ 保健師 山田 佳江 技幹 神奈川県健康増進課 健康づくりグループ 管理栄養士 有村 優子 主査
14:30～15:30	総会式典 開 会 会長挨拶 来賓祝辞 優良栄養士審査経過報告 表彰状授与 40年表彰、10年表彰 総会成立宣言 議長団選出・議事録署名人選出・書記団指名 第1号議案 (提案・討論・採決) 報告事項 (1)、(2)
15:45	閉 会

【2025 度公益社団法人神奈川県栄養士会定時総会議案】

第 1 号議案 2024 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録等承認の件
監査報告

報告事項 (1) 2025 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて

(2) 2024 年度事業報告、収支計算書について

貸 借 対 照 表

2025年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	16,009	76,391	▲60,382
普通預金	3,099,475	2,615,976	483,499
ゆうちょ銀行	8,619,500	9,905,500	▲1,286,000
現金預金合計	11,734,984	12,597,867	▲862,883
(2) その他流動資産			
未収金	294,350	130,000	164,350
その他流動資産合計	294,350	130,000	164,350
流動資産合計	12,029,334	12,727,867	▲698,533
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	2,599,085	2,397,641	201,444
事務所設備管理資産	6,136,545	6,133,748	2,797
記念事業積立資産	3,501,839	3,300,039	201,800
事業安定化積立資産	9,009,752	9,004,714	5,038
危機管理対策支援資産	3,001,860	3,000,223	1,637
特定資産合計	24,249,081	23,836,365	412,716
(2) その他特定資産			
差入保証金	3,015,200	3,015,200	0
什器備品	1,423,528	2,165,543	▲742,015
その他特定資産合計	4,438,728	5,180,743	▲742,015
固定資産合計	28,687,809	29,017,108	▲329,299
資産合計	40,717,143	41,744,975	▲1,027,832
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,350	0	1,350
前受金	4,485,500	5,160,500	▲675,000
預り金	4,134,000	4,745,000	▲611,000
流動負債合計	8,620,850	9,905,500	▲1,284,650
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,600,000	2,400,000	200,000
固定負債合計	2,600,000	2,400,000	200,000
負債合計	11,220,850	12,305,500	▲1,084,650
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	29,496,293 (21,649,996)	29,439,475 (21,438,724)	56,818 (211,272)
正味財産合計	29,496,293	29,439,475	56,818
負債及び正味財産合計	40,717,143	41,744,975	▲1,027,832

正味財産増減計算書

2024年04月01日から 2025年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	13,266	226	13,040
特定資産運用益計	13,266	226	13,040
受取入会金			
受取入会金	304,000	229,000	75,000
受取入会金計	304,000	229,000	75,000
受取会費			
正会員受取会費	18,613,000	18,193,000	420,000
賛助会員受取会費	2,490,000	2,520,000	▲30,000
受取会費計	21,103,000	20,713,000	390,000
事業収益			
研修事業収益	2,026,500	2,052,600	▲26,100
栄養ケアステーション事業収益	561,707	950,650	▲388,943
研修会等広告・展示収益	1,010,000	1,217,900	▲207,900
事業収益計	3,598,207	4,221,150	▲622,943
受取補助金等			
受取地方公共団体助成金	160,000	130,000	30,000
受取民間助成金	486,341	0	486,341
受取補助金等計	646,341	130,000	516,341
受取負担金			
受取負担金	20,000	0	20,000
受取負担金計	20,000	0	20,000
雑収益			
受取利息	5,205	91	5,114
雑収益	394,334	360,087	34,247
雑収益計	399,539	360,178	39,361
経常収益計	26,084,353	25,653,554	430,799
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	2,899,489	2,935,555	▲36,066
法定福利費	390,642	343,359	47,283
退職給付費用	140,000	140,000	0
旅費交通費	2,773,706	2,185,504	588,202
通信運搬費	547,268	465,212	82,056
消耗品費	710,662	359,402	351,260
印刷製本費	440,233	335,424	104,809
光熱水料費	179,977	169,479	10,498
賃借料	5,766,997	4,882,819	884,178
諸謝金	2,203,154	2,568,614	▲365,460
負担金	315,075	250,000	65,075
雑費	6,257	34,050	▲27,793
減価償却費	519,411	719,209	▲199,798
事業費計	16,892,871	15,388,627	1,504,244
管理費			
給与手当	1,242,638	1,258,096	▲15,458
法定福利費	167,412	147,160	20,252
退職給付費用	60,000	60,000	0
会議費	6,070	6,940	▲870
旅費交通費	891,272	1,318,402	▲427,130
通信運搬費	1,641,693	1,319,714	321,979
消耗品費	631,271	403,446	227,825
印刷製本費	1,524,745	1,570,821	▲46,076
光熱水料費	77,133	72,631	4,502
賃借料	1,682,707	1,649,739	32,968
保険料	117,473	134,736	▲17,263
諸謝金	100,232	111,368	▲11,136
支払負担金	35,000	0	35,000
雑費	266,310	352,290	▲85,980
委託費	468,104	2,297,922	▲1,829,818
減価償却費	222,604	308,232	▲85,628
管理費計	9,134,664	11,011,497	▲1,876,833
経常費用計	26,027,535	26,400,124	▲372,589
評価損益等調整前当期経常増減額	56,818	▲746,570	803,388
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	56,818	▲746,570	803,388
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	56,818	▲746,570	803,388
当期一般正味財産増減額	56,818	▲746,570	803,388
一般正味財産期首残高	29,439,475	30,186,045	▲746,570
一般正味財産期末残高	29,496,293	29,439,475	56,818
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	29,496,293	29,439,475	56,818

正味財産増減計算書内訳表

2024年04月01日から2025年03月31日まで

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	県民健康づくり事業	公益目的事業		小計	会員研修事業	収益など共通			
		県民健康づくり事業							
		小計	小計						
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	0	0	13,266	13,266	0	0	0	0	13,266
特定資産受取利息	0	0	13,266	13,266	0	0	0	0	13,266
特定資産運用益計	0	0	26,532	26,532	0	0	0	0	26,532
受取入会金	0	0	304,000	304,000	0	0	0	0	304,000
受取入会金計	0	0	304,000	304,000	0	0	0	0	304,000
受取会費	0	0	9,306,500	9,306,500	0	0	9,306,500	0	18,613,000
正会員受取会費	0	0	9,306,500	9,306,500	0	0	9,306,500	0	18,613,000
賛助会員受取会費	0	0	1,245,000	1,245,000	0	0	1,245,000	0	2,490,000
賛助会費計	0	0	10,551,500	10,551,500	0	0	10,551,500	0	21,103,000
事業収益	175,500	1,623,000	0	1,798,500	228,000	0	228,000	0	2,026,500
研修事業収益	561,707	0	0	561,707	0	0	0	0	561,707
栄養ワークショップ事業収益	20,000	341,000	0	361,000	0	0	649,000	0	1,010,000
研修会等広告・展示収益	757,207	1,964,000	0	2,721,207	228,000	0	649,000	0	3,598,207
事業収益計	160,000	0	0	160,000	0	0	0	0	160,000
受取補助金等	0	486,341	0	486,341	0	0	0	0	486,341
受取地方公共団体助成金	160,000	486,341	0	646,341	0	0	0	0	646,341
受取民間助成金	20,000	0	0	20,000	0	0	0	0	20,000
受取補助金等計	20,000	0	0	20,000	0	0	0	0	20,000
受取負担金	0	58	0	58	0	0	5,147	0	5,205
受取負担金計	147,700	2,214	0	149,914	0	0	244,420	0	394,334
雑収益	147,700	2,272	0	149,972	0	0	249,567	0	399,539
雑収益計	1,084,907	2,452,613	10,868,766	14,406,286	228,000	0	11,450,067	0	26,084,353
(2) 経常費用									
事業費	2,071,066	828,423	0	2,899,489	0	0	0	0	2,899,489
給与手当	279,027	111,615	0	390,642	0	0	0	0	390,642
法定福利費	100,000	40,000	0	140,000	0	0	0	0	140,000
退職給付費用	1,865,180	799,736	24,560	2,689,476	84,230	0	84,230	0	2,773,706
旅費交通費	440,727	106,431	0	547,158	110	0	110	0	547,268
通信運搬費	597,259	113,403	0	710,662	0	0	0	0	710,662
消耗品費	404,558	35,675	0	440,233	0	0	0	0	440,233
印刷製本費	131,175	48,802	0	179,977	0	0	0	0	179,977
光熱水料費	4,217,779	1,549,218	0	5,766,997	0	0	0	0	5,766,997
賃借料	1,448,025	587,854	55,685	2,091,564	111,590	0	111,590	0	2,203,154
諸謝金	191,925	123,150	0	315,075	0	0	0	0	315,075
負担金	849	4,467	218	5,534	723	0	723	0	6,257
雑費	445,209	74,202	0	519,411	0	0	0	0	519,411
減価償却費	12,192,779	4,422,976	80,463	16,696,218	196,653	0	196,653	0	16,892,871
事業費計									
管理費	0	0	0	0	0	0	1,242,638	0	1,242,638
給与手当	0	0	0	0	0	0	167,412	0	167,412
法定福利費	0	0	0	0	0	0	60,000	0	60,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	6,070	0	6,070
会議費	0	0	0	0	0	0	891,272	0	891,272
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	1,641,693	0	1,641,693
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	631,271	0	631,271
消耗品費	0	0	0	0	0	0	1,524,745	0	1,524,745
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	77,133	0	77,133
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表

2024年04月01日から2025年03月31日まで

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計		法人会計	内部取引等消去	(単位:円) 合計
	県民健康づくり事業	公益目的共通				会員研修事業	収益など共通			
		小計								
		0	0	0	0			0		
貸借料	0	0	0	0	0	0	0	1,682,707	0	1,682,707
保険料	0	0	0	0	0	0	0	117,473	0	117,473
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	100,232	0	100,232
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	35,000	0	35,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	266,310	0	266,310
委託費	0	0	0	0	0	0	0	468,104	0	468,104
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	222,604	0	222,604
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	9,134,664	0	9,134,664
経常費用計	12,192,779	4,422,976	80,463	16,696,218	196,653	196,653	0	9,134,664	0	26,027,535
評価損益等調整前当期経常増減額	▲11,107,872	▲1,970,363	10,788,303	▲2,289,932	31,347	31,347	0	2,315,403	0	56,818
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	▲11,107,872	▲1,970,363	10,788,303	▲2,289,932	31,347	31,347	0	2,315,403	0	56,818
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲11,107,872	▲1,970,363	10,788,303	▲2,289,932	31,347	31,347	0	2,315,403	0	56,818
当期一般正味財産増減額	▲11,107,872	▲1,970,363	10,788,303	▲2,289,932	31,347	31,347	0	2,315,403	0	56,818
一般正味財産期首残高	▲84,225,289	▲15,428,035	90,396,647	▲9,256,677	▲715,325	▲715,325	0	39,411,477	0	29,439,475
一般正味財産期末残高	▲95,333,161	▲17,398,398	101,184,950	▲11,546,609	▲683,978	▲683,978	0	41,726,880	0	29,496,293
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	▲95,333,161	▲17,398,398	101,184,950	▲11,546,609	▲683,978	▲683,978	0	41,726,880	0	29,496,293

財 産 目 録

2025年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管	運転資金	16,009
	普通預金		運転資金	3,099,475
	横浜銀行 県庁支店		運転資金	2,982,140
	横浜銀行 横浜駅前支店		運転資金	117,335
	郵便貯金		運転資金	8,619,500
現金預金合計				11,734,984
その他流動資産	未収金		逗子市地域リハビリテーション活動支援事業委託精算金160,000円 2024年度会費18名分126,000円 入会金7名分7,000円 日本栄養士会事務手数料1,350円	294,350
	その他流動資産合計			294,350
流動資産合計				12,029,334
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	横浜銀行/関内支店	職員の退職給付金の引当資産	2,599,085
	事務所設備管理資産	みずほ銀行/横浜中央支店	設備等の更新	6,136,545
	記念事業積立資産	みずほ銀行/横浜中央支店		3,501,839
	事業安定化積立資産	横浜銀行/関内支店	公益目的保有財産(運用益を公益事業の財源として使用)	9,009,752
	危機管理対策支援資産	みずほ銀行/横浜中央支店	災害等における支援	3,001,860
	特定資産合計			24,249,081
その他特定資産	差入保証金	㈱新井清太郎商店	事務所賃貸差入保証金	3,015,200
	什器備品			1,423,528
	その他特定資産合計			4,438,728
固定資産合計				28,687,809
資産合計				40,717,143
(流動負債)	未払金		日本栄養士会クレジット決済手数料	1,350
	前受金			4,485,500
	会費前受金		2025年度会費	4,485,500
	預り金		2025年度会費(日本栄養士会会費)	4,134,000
	流動負債合計			8,620,850
(固定負債)	退職給付引当		職員の退職給付金の引当額	2,600,000
	固定負債合計			2,600,000
負債合計				11,220,850
正味財産				29,496,293

財務諸表に対する注記

2024年4月1日から2025年3月31日

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

その他の固定資産

什器備品は定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づき計算している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込経理方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	2,397,641	201,444		2,599,085
事務所設備管理資産	6,133,748	3,347	550	6,136,545
記念事業積立資産	3,300,039	201,800		3,501,839
事業安定化積立資産	9,004,714	5,038		9,009,752
危機管理対策支援資産	3,000,223	1,637		3,001,860
合 計	23,836,365	413,266	550	24,249,081

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源などの内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	2,599,085			2,599,085
事務所設備管理資産	6,136,545		6,136,545	
記念事業積立資産	3,501,839		3,501,839	
事業安定化積立資産	9,009,752		9,009,752	
危機管理対策支援資産	3,001,860		3,001,860	
小 計	24,249,081	(0)	(21,649,996)	(2,599,085)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	5,659,017	4,235,489	1,423,528
合 計	5,659,017	4,235,489	1,423,528

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載しているので、
内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	2,400,000	200,000		2,600,000
合 計	2,400,000	200,000	0	2,600,000

監査報告書

公益社団法人 神奈川県栄養士会
会 長 西宮 弘之 殿

2025 年 4 月 18 日

公益社団法人 神奈川県栄養士会

監 事 川口 栄二 ㊞

公益社団法人 神奈川県栄養士会

監 事 赤見 一雄 ㊞



私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2025 年度事業計画書

概 要

食を通して、保健、医療、福祉及び教育の分野において、専門職種として栄養改善における学術及び技術の向上を図り、県民の健康増進及び疾病の重症化予防の支援を行う。

子どもから高齢者までの食と栄養の福祉の増進を図り、公衆衛生の向上に資する事業を行う。

管理栄養士・栄養士の職業倫理の高揚を図り、専門分野における研修事業充実と県民の健康づくり事業を推進する。

事業は公益目的事業１（公１）、公益目的事業２（公２）、その他の事業、法人運営事業に分類し、業務並びに活動の事業体系とする。

公１の事業：食(栄養)を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業

公２の事業：学術の振興を通して間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業

その他の事業：管理栄養士・栄養士の栄養学術・技術の向上を目的に実施する研修事業

法人運営事業：会務及び事業運営にあたり必要な事項

重点目標

１．県民健康づくり事業を推進する。

専門職種として資質の向上を図り、その技術を活かして県民の健康づくり事業を推進する。

２．栄養ケア・ステーション事業の運営と推進をする。

県民の健康づくり事業を推進する拠点として、公衆衛生の向上を目的に事業を推進する。

在宅栄養ケア活動支援事業と危機管理対策支援事業を進め、県民の健康づくり及び災害時保健活動への協力をする。

３．研修事業の充実を図る。

管理栄養士・栄養士の栄養学術・技術の向上を図り、その知識をもって県民の健康増進を推進する。

Web 等を活用した研修事業を充実し、その知識をもって県民の健康増進を推進する。

事業内容

１．県民健康づくり事業及び協力事業（公１）

（１）市民公開講座

（２）栄養ケア・ステーション事業

（３）高齢者食生活サポート事業

（４）外食アドバイス事業

（５）県民活動事業

（６）かながわ健康プラン 21 の推進事業、神奈川食育推進計画の推進事業、神奈川県がん対策推進計画の推進事業に協力

（７）関係機関、関係団体の事業に協力

（８）管理栄養士・栄養士就業支援事業

（９）委託事業

２．研修事業（公２）

（１）栄養技術研修会

（２）栄養学術研修会

- (3) 実践・研究大会（旧栄養改善学会）
- (4) 職域研修事業
- (5) 委託事業

3. その他の事業

- (1) 生涯教育研修会
- (2) スキルアップ研修会
- (3) 委託事業

4. 法人運営事業

- (1) 総 会
- (2) 理事会・常任理事会
- (3) 広報事業 ①会報誌「栄養かながわ」「かもめ」 ②ホームページ運営
- (4) その他 ①顕彰、選挙管理他

食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業			
事業区分	事業名	事業内容の要旨	事業の概要
1. 市民公開講座	健康づくりに関するセミナーを実施	健康づくりに関するセミナーを開催し、栄養相談・食事相談を実施	県民の健康づくりに関心のある内容を実施し、同時に会場にて栄養・食事相談を実施することで、食生活習慣の改善を図る。
2. 栄養ケア・ステーション事業	健康づくり事業の拠点生活習慣病の発症及び重症化予防、食育、介護予防等の推進 情報共有ツールの更新 栄養ケア・ステーション事業の推進を図るため、関係機関・関係団体から講師紹介の依頼、県民・依頼事業者それぞれのアウトを整理し、必要フォローアップを添付して情報共有する。	健康づくり事業の拠点生活習慣病の発症及び重症化予防、食育、介護予防等の推進 情報共有ツールの更新 栄養ケア・ステーション事業の推進を図るため、関係機関・関係団体から講師紹介の依頼、県民・依頼事業者それぞれのアウトを整理し、必要フォローアップを添付して情報共有する。	セミナー、料理講習、講師紹介、医療機関・各種団体から講師紹介の依頼、県民・依頼事業者それぞれのアウトを整理し、必要フォローアップを添付して情報共有する。
3. 高齢者食生活サポート事業	在宅栄養ケア活動支援事業	在宅栄養ケア活動支援事業	在宅栄養ケア活動支援事業の推進を図るため、関係機関・関係団体から講師紹介の依頼、県民・依頼事業者それぞれのアウトを整理し、必要フォローアップを添付して情報共有する。
4. 外食アドバイス事業	地域のボランティア団体が実施する高齢者の食事ササゲ事業	地域のボランティア団体が実施する高齢者の食事ササゲ事業	地域のボランティア団体が実施する高齢者の食事ササゲ事業の推進を図るため、関係機関・関係団体から講師紹介の依頼、県民・依頼事業者それぞれのアウトを整理し、必要フォローアップを添付して情報共有する。
5. 県民活動事業別添資料	県民健康づくり事業を推進し、市民まつりやイベント会場にて、県民のための栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり等	県民健康づくり事業を推進し、市民まつりやイベント会場にて、県民のための栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり等	県民健康づくり事業を推進し、市民まつりやイベント会場にて、県民のための栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康づくり等
6. かながわ健康プラン	21推進事業、神奈川県食育推進計画、神奈川県食育推進計画の推進事業に協力	21推進事業、神奈川県食育推進計画、神奈川県食育推進計画の推進事業に協力	21推進事業、神奈川県食育推進計画、神奈川県食育推進計画の推進事業に協力
7. 関係機関、関係団体の事業への協力	かながわ特定保健指導フェアーくすりと健康すこやかフェア健康チャレンジフェアかながわかながわ看護フェアエスエス健康づくり講演会健康づくり講演会お口の健康フェア食育研究会	かながわ特定保健指導フェアーくすりと健康すこやかフェア健康チャレンジフェアかながわかながわ看護フェアエスエス健康づくり講演会健康づくり講演会お口の健康フェア食育研究会	かながわ特定保健指導フェアーくすりと健康すこやかフェア健康チャレンジフェアかながわかながわ看護フェアエスエス健康づくり講演会健康づくり講演会お口の健康フェア食育研究会
8. 委託事業	研修会及びイベントを開催し、県民の健康づくり役に役立つ情報提供	研修会及びイベントを開催し、県民の健康づくり役に役立つ情報提供	研修会及びイベントを開催し、県民の健康づくり役に役立つ情報提供

公2 学術の振興を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業				
事業区分 公2				
事業名称 研修事業				
定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号				
事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況	
1. 栄養技術研修会	栄養業務、健康づくり活動に必要な最新の栄養学、専門分野別技術向上のための研修(会員・非会員可)	専門分野の技術向上を図ることにより、県民の健康寿命延伸の活動の円滑化を図り、公衆栄養の健全化に寄与することを目的とする。	ニーズに応じた県民の健康づくりに必要な技術研修を開催	
2. 栄養学術研修会	専門職種として、科学的根拠に基づいた学術の向上と質の担保を確保 会員・非会員可	保健、医療、福祉の専門分野における栄養学の向上と科学的根拠に基づいた栄養学、調理学、衛生学を学び、県民の健康増進に寄与する。	専門分野別に生活習慣病予防、食生活改善を支援	
3. 第8回実践・研究大会 (名称変更：旧神奈川県 栄養改善学会[第48回])	日常の栄養業務での栄養改善や実践栄養学の調査・研究の発表を通して資質向上 会員・非会員可	実践の栄養管理業務を通して、学術的・科学的知見を基に調査研究し、学術発表をとおして、学術的知識の提供と県民の健康増進に寄与する。	多分野の学術発表や企業展示により最新の学術、食品や機器の情報を得て、日常の業務や活動に貢献する。	
4. 職域研修事業 (別添資料)	専門職種としての学術、技術の資質向上、栄養業務の充実 県民の健康に寄与する活動へ繋ぐ 会員・非会員可	各分野の専門職種としての専門技術のスキル向上を図り、栄養管理業務に役立てるとともに、県民の健康をサポートする活動に貢献する。	職域事業部会で研修事業を実施	
5. 委託事業	生活習慣病予防、介護予防、食育推進を目的に職域で研修事業を実施	栄養管理業務の向上のための技術を修得し、保健、医療、福祉に貢献する栄養士の知識向上を目的に修得した知識を県民の健康づくり事業に貢献する。	(公社)日本栄養士会、企業等からの研修会事業の受託 一般参加者	

区分 分 其他の事業				
事業名 定款上の根拠 第4条第1項4号、7号				
事業名 事業内容の要旨				
事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況	
1. 生涯教育研修会 (年2回)	専門職としての能力の習熟、キャリアを支援する生涯教育制度、生涯職能開発 会員・非会員可	管理栄養士・栄養士として科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟を高め、県民のために役立てる。	多職種の連携や専門職種としてのスキル向上を図り、実践栄養の場で活躍できる管理栄養士・栄養士を育成し、県民の健康増進を支	
2. スキルアップ研修会	栄養業務推進のための専門スキル向上を目的に実施	疾病の重症化予防の食事指導等に必要ない企画、運営、コミュニケーション能力の確保を習得する。	保健、医療、福祉の分野で活動する管理栄養士・栄養士に必要なスキルを向上し、業務に活かすと共に県民の健康づくりに貢献する	
3. 委託事業	(公社)日本栄養士会、企業の委託事業として実施	管理栄養士・栄養士の知識の向上を図り、栄養と食事指導の技術力向上を図る。	セミナーの開催、栄養業務のスキルアップを修得	

[県民活動事業部]

第 1

食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業					
定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号					
事業名称「健康づくり事業」					
事業区分	事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況	
公共1	市民公開講座及び市民向け媒体の作成	健康づくりに関するセミナーを開催し、栄養相談を実施	健康づくりに関する新しい活動や理論の普及を旨とする。同時に会場にて栄養・食事相談を実施すること、生活習慣の改善を図る。	会員及び横浜市民講演会などの開催及びイベントで活用するレシピや資料の作成	
	歯と口の健康週間事業 フェスティバル	横浜市歯科医師会が主催するイベントへの参加、周知協力	歯の健康と食事との関連をテーマとした食育活動を実施し、栄養士、栄養士会の活動の理解を図り、横浜市歯科医師会との連携協力を旨とする	横浜市民及び関係団体役員、栄養士の活動報告 資料配布	
	市民向け料理講習会	作成した料理レシピを活用し、市民向けの料理講習会を開催する。とりわけ離乳食レシピを活用した離乳食教室、おやこ料理教室	地域の栄養士グループとも協力し、離乳食作りを通して食育やおやこ料理教室を子育て拠点、地域ケアプラザなどで開催する	各区にある子育て拠点、子育てサロン、広場、栄養ケア・ステーションなどでの実施	
	健康チャレンジフェア	(公財)かながわ健康財団が主催する健康づくりイベントに参加、協力する。関係団体と協力して健康づくりの実践活動を県民、市民に普及啓発する	医療関係団体が参加し、栄養士会展示ブースでは、テーマに沿って食を通じた健康づくり支援を展示し、食育や未病予防の啓発や行動に繋げる。測定や体験型で参加者を誘い、市民向けに栄養相談やアドバイスに応じる	神奈川県、横浜市民食育ゲーム、パネル展示、作成レシピ、資料配布	
	市民活動フェア	神奈川県民センターを活動拠点とするボランティア活動団体が運営し、各団体の活動紹介と交流の場として開催する	栄養士や栄養士会の活動を市民に広く知ってもらう。第1県民活動事業部会の活動紹介の展示と作成したレシピを説明して配布する。栄養バランスの良い食事の組み合わせを食育媒体でアドバイスする	横浜市民及び関係団体運営委員	
	横浜市への協力事業	健康第3期横浜21の基本理念である共に取り組む生涯を通じて健康づくりに関係団体として事業協力する	健康寿命の延伸を基本目標に、育ち・学びの世代(学童期)働き・子育て世代(成人期)実りの世代(高齢期)乳幼児期から高齢期まで、継続して健康づくりに取り組めるよう関係団体として事業に参加協力する	計画期間 令和6年度より12年間	
	乳製品普及講習会	牛乳乳製品の栄養学的な知識や料理の普及や消費の拡大を目指す	県牛乳普及協議会が主催する健康づくりイベントに参加し、協力する。コロナ感染症影響で2022年度以降依頼無し	横浜市民牛乳、乳製品に関する健康講話資料、レシピ配布	

公1 食(栄養)を通してすべての市民の健康増進(公衆衛生)に直接的に寄与することを目的とする事業

定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号

事業名称 健康づくり事業

事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
研修講演会 事業報告等	2024年度事業報告・収支決算報告 2025年度事業計画・予算(案)説明 食育推進関係団体と連携し、関係者の意識向上 を目的とした研修講演会の開催	公益事業を実施することを目的に活動を行う。 地域住民の健康づくりを推進するために、食育関係団体との連携 が図れるよう、共に講演会・研修会等を実施する。	会員及び一般参加者 研修講演会(市民公開講座)の開 催
在宅栄養ケアを進める 打合せ会	川崎市内の在宅ケアの状況について、情報交 換、打合せ会 関係他職種との連携について打合せ会 関係方面への働きかけ、情報を共有	川崎市内の在宅栄養者の介護状況を把握し、各区で行われている 在宅ケアの会立ち上げなどに最初から協力できる栄養士の体制づく りをすすめるための研修や打合せを行う。 川崎市医師会、各区在宅療養調整医師へ働きかけを行う。	打合せ会議
災害支援対応委員会	川崎市内の災害対策等の状況について、情報交 換、打合せ会 関係他職種との連携について打合せ会 関係方面への働きかけ、情報を共有	川崎市内の災害対策について理解し、栄養士会としての支援内 容・方法の検討や共通理解を図るための研修や打合せを行う。 関係方面への働きかけを行う。	打合せ会議 研修会
地域の居場所づくり 陽だまりカフェ	地域に市民の集う居場所を提供 市民へ食生活の見直し・改善の提案	地域包括ケア事業として、地域住民へ居場所の提供を行い、顔の 見える関係を広げ、引きこもり防止、災害時の連携を図る。 栄養士・管理栄養士が運営することにより、食生活の見直し・改 善を提案する。	一般参加者 簡単な調理の提案 食生活指導 血圧・体脂肪・握力測定 ストレッチ体操
高津区健康づくりの つどいへの参加	関係機関への協力 会場にて食事・栄養相談を実施 健康・栄養に関する資料の展示や配布	地域住民の健康づくりで関心のある内容を実施し、会場にて栄 養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直 す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談 資料の展示・配布
お口の健康フェアへの 参加	関係団体事業への参加・協力 会場にて食事・栄養相談を実施、噛むことの大切 さを指導	地域住民の健康づくりで関心のある内容を実施し、会場にて栄 養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直 す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談 資料の展示・配布
たかつ区健康福祉 まつりへの参加	関係機関への協力 会場にて食事・栄養相談を実施 健康・栄養に関する資料の展示や配布	地域住民の健康づくりで関心のある内容を実施し、会場にて栄 養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直 す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談 資料の展示・配布
麻生区福祉まつりへの 参加	関係機関への協力 会場にて食事・栄養相談を実施 健康・栄養に関する資料の展示や配布	地域住民の健康づくりで関心のある内容を実施し、会場にて栄 養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直 す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談 資料の展示・配布
かわさき市民祭りへの 参加	川崎市が開催する事業への参加・協力 会場にて食事・栄養相談を実施 健康・栄養に関する資料を配布	地域住民の健康づくりで関心のある内容を実施し、会場にて栄 養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直 す機会とする。 それぞれの職域での専門知識をもって栄養・食事相談を行う。	一般参加者 食事・栄養相談 資料の展示・配布
市民向け 食に関する資料の提供	市民への食に関する資料の提供 食に関する情報のチラシやポスター等の配布、 掲示	市民が集う機会の減少に伴い、食に関する情報を資料として市民 に向けて提供することにより、市民が健康な生活を過ごすための一 助とする。 市民が利用する区役所・市民館等への資料の設置や掲示を行う。	市民 資料の配布、掲示

公1 食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業

事業区分 公1

事業名称 健康づくり事業

定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号

事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
市民公開講座（第1回）	2024年度事業報告 会員・一般向けに市民公開講座の開催	公益事業を実施することを目的に活動を行う。 2024年度の事業を会員に報告すると同時に 会員及び一般市民向けの公開講座を開催する。 会場にて野菜350g当てタイズ、握力測定等を行いながら 楽しく学び、食事・栄養相談を実施して日頃の食生活を 見直す機会とする。賛助会員にご協力いただき、 災害用備蓄食品や特殊用途食品の紹介、資料配布を 実施する。また、参加している専門職や参加者に地域の栄養士の 存在をアピールする。	市民公開講座の開催 一般参加者
ふれあいフェスティバル へ参加	横須賀市社会福祉協議会が主催する イベントへ参加し、食事・栄養相談や 握力測定等を通して、健康づくりと 生活習慣病やフレイル予防 災害への啓発を行う。		一般参加者 食事・栄養相談
地産地消・ 子供お料理教室	1人で料理をすることによって 食べる力、生きる力を育む食育実践の環 境をつなげる。	小学校高学年を対象に地域の産物を使った 調理実習を食育の推進を目的に実施する。 子供達が楽しく料理することに関心をもち、 家庭での会話のきっかけにもつなげてもらう。	一般参加者 料理教室
福祉まつりへ参加	公益性のある地域イベントに参加し 食事・栄養相談や握力測定等を通して 健康づくりと生活習慣病やフレイル予防、 災害への知識、食品備蓄への啓発を行う。	県民の健康づくりで関心のある内容を実施し、会場に て栄養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について 生活習慣を見直す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談
＜第4管内市町＞ 市民公開講座（第2回）	会員・一般向けに市民公開講座の開催 災害への知識や食品備蓄の普及啓蒙	公益事業を実施することを目的に活動を行う。 災害への意識を高め、より身近なものに感じてもらう。 ローリングストックの方法を学び、バックッキング等の実演を 通じて自力を身につけてもらう。	体脂肪測定 市民公開講座の開催 一般参加者
幼児・保護者対象食育 活動（葉山・逗子・横須賀）	保育園を訪問し、栄養指導媒体（エ プロンシアター等）を活用した指導	保育園を訪問し、次代を担う子ども達が望ましい食習慣を 身につけて健康で豊かな生活を送れることを目的に活動を行う。 幼児及び保護者を対象にエプロンシアターの開催や食育に 関する資料の配布等を行う。	保育園関係者 食育に関する講話
FMブルー湘南出演	毎月第2水曜日にラジオのコーナーに出演し 栄養士の地域での活動や栄養及び健康に関 する情報を提供発信し、栄養士の存在や 活動を地域にPRする。	栄養・健康に関する情報の発信や講演会・イベント等の お知らせ、テーマに沿った料理の紹介等を行い栄養士や 栄養士会の活動を広く知ってもらう。	一般リスナー
のたろんフェアへ参加	市民活動サポートセンターで開催され 市民活動フェアに参加し、栄養士の存在や 活動を地域にPRする。	県民の健康づくりに関わるテーマを絞ってパネル展示し、 て、作成したパンフレット等を通して楽しく 学びながら食生活習慣を見直す機会とする。 又、栄養・食事相談にて地域の栄養士の存在をアピールする。 作成したリーフレットを、管内の小中学校等と 連携を図りながら地域に広め、食育に活用する。	一般参加者 食事・栄養相談
＜横須賀市＞ 小学生と保護者に向けた 食育パンフレットづくり ＜4市1町の小中学生へ＞	栄養士からのお話シリーズ3として作成した食育 リーフレットを配布し栄養への理解を深め地域に 広める。		小中学生とその保護者

公1 食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業

事業区分 公1
事業名称 健康づくり事業
定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号

事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
市民公開講座 なかい健康スボ・レク 祭に参加 ＜中井町＞	2024年度事業報告 会員・一般向けに市民公開講座の開催 関係機関への協力 会場にて体脂肪測定を行い、食事・栄養相談、栄養クイズなどを通して健康づくりと生活習慣病予防の啓蒙 健康・栄養に関する資料を作成・配布	公益事業を実施することを目的に事業を行う。 県民の健康づくりにおいて、関心のある内容を企画し講演会を開催する。 県民の健康づくりで関心のある内容の企画し、会場にて栄養相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直す機会とする。	一般参加者 講演会 一般参加者 食事・栄養相談 体脂肪測定 リーフレット配布
小田原市学校給食展へ 参加 ＜小田原市＞	関係機関への協力 会場にて展示ブースを設け、給食・健康・栄養に関する資料を配布 関係機関への協力 会場にて体脂肪測定を行い、生活習慣病の予防・改善の啓蒙、災害への備え、食品備蓄の知識・意識を高め、非常時のバックアップなどを地域に広め、PRする	県民の健康づくりで関心のある内容を企画し、会場に展示ブースを設け、パネル展示・給食レシビなど配布し、食習慣を見直す機会とする。 県民の健康づくりで関心のある内容の企画し、会場にて栄養相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直す機会とする。 また、災害を意識し、普段から備えをする機会とする。	一般参加者 パネル展示 給食レシビの配布 一般参加者 食事・栄養相談 リーフレット配布
糖尿病通関行事へ参加 （小田原市・箱根町・酒河原町・真鶴町） 南足柄健康へ 参加 ＜南足柄市＞	関係団体事業への参加・協力 糖尿病への理解を深める。料理の選び方の指導 栄養講話・グループワーク 関係機関への協力 食事・栄養相談 体組成測定 健康・栄養に関する資料を配布	一般市民向けに糖尿病について料理の選び方、食べ方の指導を行う。 県民の健康づくりで関心のある内容を企画し、体組成測定・栄養相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談 リーフレット配布 一般参加者 食事・栄養相談 リーフレット配布
小田原市 お口のフェスティバル 参加 ＜小田原市＞	関係機関への協力 上手なおやつの食べ方 おやつのエナジークイズ リーフレット配布	県民の健康づくりで関心のある内容を企画し、歯科医師会・小田原市に協力して行う 上手なおやつの食べ方など食習慣を見直す機会とする	一般参加者 食事・栄養相談 リーフレット配布

公1 食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業

事業区分 公1
事業名称 健康づくり事業
定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号

事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
寒川町「食育月間」における食育の推進 ＜寒川町＞	関係機関への協力 会場にて体脂肪測定を行い、食事・栄養相談を実施	公益事業を実施することを目的に事業を行う。 県民の健康づくりで関心のある内容を企画し、会場にて栄養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談 体脂肪測定
二宮菌の健康フェスタ へ参加 ＜二宮町＞	関係団体事業への参加・協力 会場にて食事・栄養相談を実施 食品釣りゲーム等	県民の健康づくりで関心のある内容を企画し、会場にて栄養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談 食品釣りゲーム 一般参加者 食事・栄養相談
ちがさき食育フェスタ ＜茅ヶ崎市＞	関係団体事業への参加・協力 会場にて食事・栄養相談を実施 人形劇	県民の健康づくりで関心のある内容を企画し、会場にて栄養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談
平塚 菌の健康フェスタ へ参加 ＜平塚市＞	関係団体事業への参加・協力 会場にて食事・栄養相談を実施	県民の健康づくりで関心のある内容を企画し、会場にて栄養・食事相談を実施して、日ごろの食生活について生活習慣を見直す機会とする。	一般参加者 食事・栄養相談

公1 食(栄養)を通してすべての市民の健康増進(公衆衛生)に直接的に寄与することを目的とする事業

事業区分 公1

事業名称 健康づくり事業

定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号

事業名	事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
事業・決算報告会(交流会) 市民公開講座	2024年度事業報告・収支決算報告 市民公開講座の開催	公益事業を実施することを目的に事業を行う。2024年度の事業及び会計を会員に報告すると同時に一般市民への公開講座を開催する。	会員及び一般参加者 市民公開講座
大和市民まつり	関係機関への協力 会場にて生活習慣病の予防、フレイル予防を普及啓発。 食事・栄養相談を実施	市民まつりの会場にて、生活習慣病やフレイル予防をはじめ、健康増進に関わる事業を推進する。 併せて、防災備用食品を紹介する。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック 備用食品のチラシ配布
栄養の日イベント (栄養ワンダー)	関係機関への協力 食事・栄養相談等	栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の認知度及びその職能への理解度向上を目的に、地域住民を対象に栄養に関するイベントを「栄養の日」を前に開催する。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック 備用食品のチラシ配布
相模原食育フェスタ	関係機関への協力 健康づくりと病気を予防する食生活の普及啓発	健康的な食生活の普及を目指し、若いファミリー層を中心に食育を推進する。子供の頃から規則正しい食習慣の重要性を啓発し、野菜の活用や減塩の工夫を伝える。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック
栄養・運動・健康フェア in イオン座間	関係機関への協力 食事・栄養相談等	地域住民の健康と福祉を促進するために、管理栄養士とリハビリテーション職(座間リハ会共催)による啓発活動を通じて正しい情報とサポートを提供することを目指す。多世代対象となる栄養チェック、運動チェック、嚥下チェックを主とした健康イベントを開催する。また、この事業を通して、座間エリアの栄養士の連携体制を作り、地域連携システムの構築に向けて動いていく。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック
相模原健康フェスタ	関係機関への協力 病気を予防する食生活の普及活動を実施・栄養相談	病気を予防する食生活の普及啓発を行う。テーマはフェスタ全体で共通したものから決定する。パランスのとれた食事のサンプルを掲示して栄養相談を実施し、県民の健康増進を図る。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック
座間ふるさとまつり	関係機関への協力 食事・栄養相談等	地域住民の健康と福祉を促進するために、管理栄養士とリハビリテーション職(座間リハ会共催)による啓発活動を通じて正しい情報とサポートを提供することを目指す。多世代対象となる栄養チェック、運動チェック、嚥下チェックを主とした健康イベントを開催する。また、この事業を通して、座間エリアの栄養士の連携体制を作り、地域連携システムの構築に向けて動いていく。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック
愛川ふれあいの村 「紅葉まつり」への参加 <愛川町>	関係機関への協力 会場にて、食事摂取アンケート及び栄養相談を実施 生活習慣病の予防をはじめ、健康増進の普及啓発	東島コミュニティ国際自然大蔵学校グループ愛川ふれあいの村で開催される「紅葉まつり」の会場において、体脂肪測定や食事摂取アンケートを通して、近隣住民の生活習慣病をはじめ、健康増進の普及啓発の実施する。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック
相模原あじさいサミット	関係機関への協力 「誰もが安心して暮らせるまちづくり」をコンセプトにしたプロジェクトである。医療や介護、福祉従事者がちゆりんとなっていく。	多職種連携した活動と管理栄養士が2世代向けに職業紹介と正しい栄養の知識を伝授する講演を行う。	一般参加者 医療従事者
緑樹市健康フェスティバル	関係機関への協力 地域住民の生活習慣病予防、フレイル予防等健康増進活動を行う。	健康的な食生活の普及を目指し、栄養相談や健康測定を通じたアドバイスを行う。幅広い世代が楽しめる取り組みを実施する。食アンケートを実施する。	一般参加者 食事・栄養相談 健康チェック
相模原市農業まつり	関係機関への協力 地域住民の生活習慣病予防、フレイル予防等健康増進活動を行う。	地元で生産された新鮮な農産物を使った、簡単に健康的なレシピの紹介をする。健康セミナーの開催。子供や家族向けに、野菜の大切さや正しい食生活を楽しむ学べるワークショップの開催。減塩や地産地消の啓発を行う。	一般参加者 健康セミナー、ワークショップ 食事・栄養相談 健康チェック
座間市民健康マラソン	関係機関への協力 参加者や来場者の健康をサポートする。マラソンをきっかけに市民の健康意識を高めることを目指す。	スポーツ栄養を通じて、運動を楽しむ習慣や健康意識を広げるきっかけ作りをする。ゴール地点での栄養補給ブース設置。運動効果を高める食事やレシピの提案、運動前後の食事や栄養に関するアドバイス、疲労回復を促す食品や飲料の提供。	一般参加者、来場者 食事・栄養相談 健康チェック
市民向け食に関するパンフレット作り	市民への食に関する資料の提供 食に関する情報のチラシやポスター等の配布、掲示	公益事業を実施することを目的に事業を行う。食育パンフレットを作成し、地域住民の集う場や各事業の場で媒体として使用する。地域住民の生活習慣病予防、フレイル予防等健康増進に活用する。	地域住民に配布

2025年度事業計画 [職域事業部]

医療

公1食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業				
事業区分	公1	定款上の根拠 第4条1項1号、3号、5号		
事業名称	健康づくり事業			
事業名		事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
公開イベント 「県民活動事業」		街頭において県民向けイベントを開催し栄養相談を実施する	県民を対象に防災の啓蒙を行い、無料栄養相談を実施する。備蓄食品や介護食品等の普及啓蒙を行う。	一般対象とした管理栄養士による相談事業
医療関係団体との合同の健康イベント等に参加協力		医療関係団体と意見交換を行うとともに、各団体と合同で、一般市民・関連職種を対象にイベントを開催する	年間を通して各団体が関係する健康イベントに関係団体として参加協力を行う。また、団体ごとの意見交換を行う。	主に栄養相談コーナーやパネル、栄養補助食品、防災、介護等の食支援の紹介展示

公2 学術の振興を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業				
事業区分		定款上の根拠 第4条1項2号、4号、6号		
事業名称		研修事業		
事業名		事業内容の要旨	事業の概要	実施状況
ブロック研修会		臨床栄養学における最新の知見を修得するための研修会を会員・非会員を問わず有資格者を対象に、各地区別に開催する	地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに開催する。	臨床専門職等の講師によるセミナーを開催。賛助会員の協力。
臨床栄養学セミナーⅠ		臨床栄養学セミナーⅠでは、ガイドラインや最新知見について経験の浅い管理栄養士からベテラン管理栄養士まで幅広く基礎学習できることを目的とする。会員・非会員を問わず有資格者を対象に実施する	研修会テーマ：糖尿病の基礎から最新の知見とガイドラインを理解することを目的としたセミナーとする。 講演形式：ハイブリッド（会場聴講+ZOOM）	臨床専門職の講師（医師、管理栄養士）によるセミナーを開催
臨床栄養学セミナーⅡ		臨床栄養学セミナーⅡでは、臨床栄養の応用や最新の話題を知り、より高度な技術や病態管理を会得することを目的とし、会員・非会員を問わず有資格者を対象に実施する	研修会テーマ：アセスメントの実力アップを目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を昨年に引き続き深掘りする。 講演形式：集合型	臨床専門職（放射線技師、検査技師）を講師に迎えセミナーを開催
栄養管理セミナー		栄養管理セミナーは、給食管理にもつながる内容として、給食管理・食の重要性を学ぶことを目的とする。会員・非会員を問わず有資格者を対象に実施する	研修会テーマ：施設における災害時の対応力実践力アップを目的に災害対策、食中毒発生時など災害時の栄養士としての心構えや対策について学ぶ 講演形式：ハイブリッド（会場聴講+ZOOM）	給食経営管理等の専門職、行政へも協力依頼し多方面からの講師によるセミナーを開催

学校健康教育

食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業			
事業区分	公1	定款上の根拠	第4条1項1号、3号、5号
事業名称	健康づくり事業		
事業名	講演会	事業内容の要旨	事業の概要
		成長期の子どもの食育や健康に関する講演会を開催 学校栄養士協議会事業に協力 非会員可・保護者	子どもの食と健康に関する知識の向上を図る。 子どもと子どもを取り巻く家庭への食育を啓発する。
		個別的な相談指導の推進のための研修会の開催 非会員可	個別的な相談指導を推進するための研修会を開催する。
研修会			研修会の開催

勤労者支援

学術の振興を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分	公2	定款上の根拠	第4条1項2号、4号、6号
事業名称	研修事業		
事業名	研修会	事業内容の要旨	事業の概要
		会員を対象に生涯教育の実務研修を実施 関連職種可・調理従事者可・非会員可	勤労者支援事業部会の会員や専門家から、事業所で実践している給食管理システムの最新状況を学ぶ。 各事業所で取り組んでいる食育・健康づくり・環境づくり・コミュニケーション方法等に関しての最新知識・スキルを習得するための研究
			研修会の実施

研究教育

学術の振興を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分	公2	定款上の根拠	第4条1項2号、4号、6号
事業名称	研修事業		
事業名	研修会 （公衆衛生事業部会 と共催）	事業内容の要旨	事業の概要
		管理栄養士・栄養士養成並びに栄養・食品等研究における栄養学術・スキル向上のための研修会を公衆衛生事業部会と共催で開催 非会員可・関連職種可 （公社）日本栄養士会・（公社）神奈川県栄養士会への入会奨励について、新人会員の増進を図ることを目的に実施	教育・研究分野で活用できる健康と栄養に関する最新の知識・スキルを修得するための研修会を開催する。
			研修会（内容により演習を含む）
			入会案内及び入会手続き等の書類を配布

公衆衛生

学術の振興を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分	公2	定款上の根拠	第4条1項2号、4号、6号
事業名称	研修事業		
事業名	研修会 （年2回うち1回は、 研究教育事業部会と共催）	事業内容の要旨	事業の概要
		公衆衛生業務に従事する管理栄養士・栄養士の資質向上のための研修 非会員可・関連職種可	専門分野のスキル向上のための研修を行い、公衆衛生に携わる管理栄養士・栄養士の業務及び活動に役立てることにより、県民の健康増進に寄与し、公衆衛生の向上に資する。
			専門講師による講演・ ・グループワーク等

地域活動

公1 食(栄養)を通してすべての県民の健康増進(公衆衛生)に直接的に寄与することを目的とする事業			
事業区分	公1	定款上の根拠	第4条第1項1号、3号、5号
事業名称	健康づくり事業		
事業名	応援します!げんき家族21 (2地区で開催)	事業内容の要旨	県民の様々な世代に向けて食育活動を実施し、テーマに沿った食育媒体や資料を用い、講話、調理実習、実演を含み、栄養相談など体験、参加型の講座を取り入れた県民の健康づくり事業を開催する。 実践研究大会にて、活動を示説発表する。
事業名		事業の概要	
技術研修会		地域で幅広い年代層に向けて栄養士活動をしている管理栄養士・栄養士が技術を習得する実務研修会を行い、地域で県民の健康増進に役立つ技術を習得する機会とする。	実施状況 一般県民 調理実習 栄養相談 テーマごとの栄養講座
実力アップセミナー (年3回)		地域で幅広い年代層に向けて栄養士活動をしている管理栄養士・栄養士が知識を深め、最新情報を研修し、活動事例を発表、伝達講習を行う。 7月及び11月は、外部講師による講演会を開催する。	調理実習及び演習 グループワーク 会員・非会員・関連職種 研修会 講演会 事例発表 会員・非会員・関連職種

福祉			
事業区分	公2	定款上の根拠	第4条第1項2号、4号、6号
事業名称	研修事業		
事業名	児童福祉施設向けスキルアップセミナー(栄養食事指導研修)	事業内容の要旨	小児の栄養アセスメントから食事指導までの実践について、食事摂取基準2020年版の変更部分を含めて理解をする。それらの活用方法をグループワークを通して、現場に生かせる指導方法を学ぶ。
事業名	栄養マネジメントを実施するための基本と技術の向上	事業の概要	専門職の講師による研修会の開催・グループワーク演習 会員・非会員・関連職種
事業名	高齢者及び障がい者の福祉施設等を利用する対象者を主として、対象特性に適した的確なアセスメントを実施するための基本と技術の向上	事業内容の要旨	専門職の講師による研修会の開催・グループワーク演習 会員・非会員・関連職種
事業名	乳幼児から高齢者まで、在宅で生活する対象者を取り巻く環境は多岐にわたる中で、シームレスな栄養管理サービスを提供するための基本と技術の向上	事業の概要	専門職の講師による研修会の開催・グループワーク演習 会員・非会員・関連職種

収支予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(10,000)	(250)	(9,750)
特定資産受取利息	10,000	250	9,750
② 受取入会金	(250,000)	(200,000)	(50,000)
受取入会金	250,000	200,000	50,000
③ 受取会費	(19,900,000)	(19,900,000)	(0)
正会員受取会費	17,500,000	17,500,000	0
賛助会員受取会費	2,400,000	2,400,000	0
④ 事業収益	(4,551,000)	(4,791,000)	(△240,000)
研修事業収益	3,166,000	3,091,000	75,000
栄養ケアステーション事業収益	500,000	800,000	△ 300,000
研修会等広告・展示収益	885,000	900,000	△ 15,000
⑤ 受取補助金等	(400,000)	(400,000)	(0)
受取地方公共団体助成金	100,000	100,000	0
受取民間助成金	300,000	300,000	0
⑥ 雑収益	(300,100)	(310,100)	(△10,000)
受取利息	100	100	0
雑収益	300,000	310,000	△ 10,000
経常収益計	25,411,100	25,601,350	△ 190,250
(2) 経常費用			
事業費	(16,563,000)	(15,902,500)	(660,500)
給与手当	3,380,000	3,135,000	245,000
法定福利費	442,000	433,500	8,500
退職給付費用	140,000	140,000	0
旅費交通費	1,400,000	1,400,000	0
通信運搬費	500,000	500,000	0
消耗品費	450,000	600,000	△ 150,000
印刷製本費	600,000	500,000	100,000
光熱水料費	223,000	223,000	0
賃借料	5,456,000	5,350,000	106,000
諸謝金	3,527,000	3,228,000	299,000
負担金	419,000	346,000	73,000
雑費	26,000	47,000	△ 21,000
管理費	(9,455,000)	(10,401,000)	(△946,000)
給与手当	1,449,000	1,344,000	105,000
法定福利費	190,000	186,000	4,000
退職給付費用	60,000	60,000	0
会議費	20,000	20,000	0
旅費交通費	1,120,000	1,200,000	△ 80,000
通信運搬費	1,600,000	1,456,500	143,500
消耗什器備品費	100,000	100,000	0
消耗品費	600,000	527,000	73,000
印刷製本費	1,400,000	1,517,000	△ 117,000
光熱水料費	96,000	95,500	500
賃借料	2,012,000	1,985,000	27,000
保険料	100,000	300,000	△ 200,000
諸謝金	138,000	285,000	△ 147,000
負担金	50,000	50,000	0
委託費	300,000	1,075,000	△ 775,000
雑費	220,000	200,000	20,000
経常費用計	26,018,000	26,303,500	△ 285,500
当期経常増減額	△ 606,900	△ 702,150	95,250
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度退職給付費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 606,900	△ 702,150	95,250
一般正味財産期首残高	9,660,435	10,362,585	△ 702,150
一般正味財産期末残高	9,053,535	9,660,435	△ 1,309,050
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	9,053,535	9,660,435	△ 606,900

(注) 1 収支予算書(損益計算ベース)及び予算書内訳表(損益計算ベース)は、認定法施行規則第30条に規定する損益計算ベースかつ事業別に区分されたものである。

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入の予定		口	あり	☒	なし
事業 番号	借入先	金額		使途	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		口	あり	☒	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の使途	

[illegible]

28

[illegible]

31

33

34

第7 食（栄養）を通してすべての市民の健康増進（公衆衛生）に積極的に寄与することを目的とする事業		
事業区分：公衆衛生事業		
事業名称：健康づくり事業		
事業上の組織：第4条第1項1号、3号、5号		
事業内容の要旨		
事業名		
大和市民まつりへ参加（大和市）	関係機関への協力（大和市政所主催） 地域住民への生活習慣病やフレイル予防をはじめ健康増進の普及・啓発活動のため、市民まつりに参加。	ベジチェック（市営のカボチャノイド量を測定する機器）を活用し、野菜摂取の現状を「見える化」する体験型の地域活動を実施する。測定結果をもとに、個別の食生活アドバイスや野菜摂取の大切さを伝える、健康づくりのきっかけを提供する。また、健康増進の大切さを伝える、健康づくりのきっかけを提供する。
栄養の日イベント in イオンモール座間	栄養の重要性と管理栄養士・栄養士の認知度及びその職能への理解向上を目的に、地域住民を対象に栄養に関するイベントを「栄養の日」を前に開催する。	「お口と栄養の関わり」に関する、ライフステージ（乳幼児期・成人期・高齢期）ごとの口の健康と栄養の関わりについて学ぶ授業を実施。噛む力や飲み込む力の低下、食べやすさ、栄養バランスのポイントを分かりやすく紹介し、試食や体験を交えながら、美味しく食べ続ける工夫を伝える。参加者が自分や家族の食生活を見直すきっかけとなる地域向け健康イベントとする。
食育フェア（食育ひろば）「甘いみないでお塩の話」（相模原市）	関係機関への協力（相模原市主催事業に参加） 病気を予防する食生活の普及活動を実施、栄養相談	アンケート（水分チェックシート）を実施。結果は、相模原市で集計し、市内事業実施資料となる。市民を対象に、簡易的な水分チェックシートを実施し、食生活の傾向を見える化する。参加者には結果をフィードバックし、減塩のポイントや日常生活で実践できる工夫を伝える。測定結果は匿名で集計し、市内の食生活の傾向を把握する基礎資料として今後の地域健康づくり活動に活用する。
健康フェスタ（相模原市）	関係機関への協力（相模原市主催事業に参加） 病気を予防する食生活の普及活動を実施、栄養相談	アンケート（水分チェックシート）を実施。結果は、相模原市で集計し、市内事業実施資料となる。市民を対象に、簡易的な水分チェックシートを実施し、食生活の傾向を見える化する。参加者には結果をフィードバックし、減塩のポイントや日常生活で実践できる工夫を伝える。測定結果は匿名で集計し、市内の食生活の傾向を把握する基礎資料として今後の地域健康づくり活動に活用する。
仲間ふるさとまつり	関係機関への協力（座間市長寿文藝講座主催） 地域住民の健康と福祉を促進するために、管理栄養士とリハビリテーション（座間市リハ会共催）、歯科衛生士による啓発活動を通じて正しい情報とサポートを提供することを目指す。	多世代対象となる栄養チェック、運動チェック、嚥下チェックを主とした健康イベントを実施。管理栄養士・リハビリ職、歯科衛生士が連携し、多世代を対象に「食の力」を育むことの大切さを伝える啓発活動です。噛む・飲み込む・味わう力をテーマに、試食や体験、クイズを交えながら、栄養・リハビリ・口腔の観点から、いつまでも美味しく食べ、ことを支える工夫を紹介する。
愛川町健康まつり	関係機関への協力（愛川ふれあいの村の事業に参加） 病気を予防する食生活の普及活動を実施、栄養相談	地域住民の生活習慣病予防相談、体脂肪測定、食アンケートを実施。体脂肪測定を通じて自身の健康状態を見つめ直すきっかけづくりを行う。測定結果に基づき、適正な体脂肪率や生活習慣のアドバイスを提供し、無理なく続けられる食事や運動のポイントを伝える。地域住民が楽しく参加しながら健康への関心を高められる内容とする。
あじさいサミット	相模原あじさいサミットは「誰もが安心して暮らせるまちづくり」をコンセプトにしたプロジェクトで今年で2回目である。医療や介護、福祉従事者が中心となって行う。相模原市が後援	今回は「よく（食・糖・色・脂・質）」をテーマにまちづくりを考えていく。相模原市が後援している。このたび、参加依頼をもちいた。多職種連携した活動を行う機会（「口腔ケアと栄養」のセッションに参加）と管理栄養士が世代向けに職業紹介と正しい栄養の知識を伝達する講演の機会とする。
栄養・健康フェア in イオンモール座間	地域住民の健康と福祉を促進するために、管理栄養士を中心とした専門職による啓発活動を通じて、正しい情報とサポートを提供。	開催年月日：10月28日 13時～16時 会場：イオンモール座間 内容：今回は歯科衛生士、社会福祉士が参加した。食育ひろば、言語障害体験、咀嚼力判定など多くの企画を備え、幅広い年齢の来場者に栄養・運動の大切さを伝えることができた。会場：10名、一般：200名参加

医療(病院)	事業を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業			事業内容の要旨	事業の概要	実施状況	注
	事業区分(公1)	事業名称(健康づくり事業)	事業名				
医療(病院)	公1	食(栄養)を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号	事業内容の要旨 臨床栄養学における最新の知見を一般市民・会員・関係機関に対してセミナーを開催 医師関係団体と意見交換を行うとともに、各団体と共同で、一般市民・関係職種を対象にイベントを開催	事業の概要 年間を通して、各団体が関係する健康イベントや自治体が開催する健康イベントに関係団体として参加協力を行う。また、団体ごとの意見交換を行う。	実施状況 2024年度は中止	注 神奈川県医療専門職連合会へ医療事業部会として11月10日横浜市中区開催「ハローニ横浜」へ参加 多職種と協働して市民への栄養相談、情報提供、サンプル配布を実施した。
	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「栄養指導スキルアップ」を目的として事前アンケートによる市況ニーズ型セミナーとする。 講演形式：ハイブリッド（会議室200名）	実施状況 開催年月日：2024年10月26日（土） 会場：ピナSUNホール（海老名） 「病院食について考えよう」参加者で意見交換しながら進める形式参加者8名	
医療(病院)	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「栄養指導スキルアップ」を目的として事前アンケートによる市況ニーズ型セミナーとする。 講演形式：ハイブリッド（会議室200名）	実施状況 開催年月日：2024年6月29日 会場：ハイブリッドホール 「アクトカ」の市上をめざそう～自信が持てる栄養指導～ 講師：安達 美佳先生 参加者：会場 35名 WEB 50名 合計85名	
	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年11月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
医療(病院)	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
医療(病院)	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
医療(病院)	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
医療(病院)	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
医療(病院)	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型開催とした。 「教えて画像と心電図」 講師：放射線技師 神水光氏 検査技師 北村拓助氏 参加者63名	
医療(病院)	公2	学術的医業を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業	定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号	事業内容の要旨 地域の特性を生かし、日々の業務の中で問題となる内容のセミナーを小規模で開催する。各ブロックごとに年2回程度開催する。	事業の概要 年間テーマ「今の自分をランランアップ」 研修会テーマ「アセスメント力のランランアップ」を目的に画像診断や検査値などのアセスメント方法を深掘りする。 講演形式：集合型	実施状況 開催年月日：2024年5月16日 会場：神奈川県総合健康センター 集合型	

学校健康教育

食（栄養）を通してすべての県民の健康増進（公衆衛生）に直接的に寄与することを目的とする事業			
事業区分：公2			
事業名称：健康づくり事業			
事業内容の要旨			
事業の概要			
実施状況			
祝			
講演会 (神奈川県学校栄養士協議会・神奈川県学校保健連合会との共催事業)	管理栄養士・栄養士の資質向上 家庭の食育を啓発するための講演会	(ためしてなっとく 味覚教室) 栄養士のみならず、例年保護者にも参加を募っている。保護者にも興味ある内容とした。	開催年月日：2024年11月14日(木) 会場：神奈川県学校給食会館 演題：「ためしてなっとく 味覚教室」 講師：味の素株式会社 グループ・パルコミュニケーション 飯田綾香氏 株式会社ことりと社代表 小島俊介氏 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 講師 飯田綾香氏 参加者：67名(会員 6名、一般 61名)
京浜曲区栄養士会学校健康教育事業 部会研修会	個別の相談指導を推進するための研修会	講演：学校における個別の相談指導のために グループワーク：具体的な事例提示による個別の相談指導を進めるためのワーク活動によりスキルを身につけた。	千葉県開催 会員各自参加申し込み

勤労者支援(集団健康管理)

食（栄養）を通してすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分：公2			
事業名称：研修事業			
事業内容の要旨			
事業の概要			
実施状況			
祝			
研修会	給食業務に役立つ栄養理論を用いた食品ロス削減について学び、日ごろの業務にSDGsを浸透させるため	行動経済学の一つであるナッジを業務に取り入れたいと思っている方向けに、実際の取り組みの事例を紹介しながらスキルを身につける	実施年月日：令和6年2月3日(土) 会場：神奈川県栄養士会事務局 (ハイブリット研修) テーマ：「行動経済学の活用」 ナッジを活用したSDGsの取り組み 講師：フェリス学院大学 国際交流学部 准教授 高橋綾子先生 参加者：会員11名 非会員1名

研究教育

食（栄養）を通してすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分：公2			
事業名称：研修事業			
事業内容の要旨			
事業の概要			
実施状況			
祝			
研修会 (公衆衛生事業部会と共催)	管理栄養士・栄養士養成並びに栄養・食品等研究における栄養学・食生活・食文化の発展を公衆衛生事業部会と共催で開催。非会員可・関連職種可	「災害時の食支援」と題し、JDA-DAT (日本栄養士会災害支援センター) の設立や災害支援を行う人材の育成を促す。災害時に求められる管理栄養士・栄養士の専門的な知識や技術を学び、災害時の栄養・食生活支援を目的に研修会を開催するようになることを目的に研修会を実施した。	開催年月日：令和6年12月14日(土) 会場：(公社) 神奈川県栄養士会事務局・ライブ配信 講話：「災害時の食支援」 ～自治体栄養士および職場の勤務栄養士として知っておきたいこと～ 講師：日本栄養士会 専務理事 下瀬佳之 氏 参加者：38名(会員)
(公社) 日本栄養士会・(公社) 神奈川県栄養士会への入会奨励	(公社) 日本栄養士会・(公社) 神奈川県栄養士会への入会奨励について、新入会員の増進を図ることを目的に実施	神奈川県内の管理栄養士・栄養士養成施設の卒業予定者全員に対し、(公社) 日本栄養士会並びに(公社) 神奈川県栄養士会の人会案内および入会手続き事項等を配布し、教員(会員)より入会の意義と手続きについて説明を実施した。	配布期間：令和7年2月2～3日 配布校：小田原短期大学、神奈川県立保健福祉大学、鎌倉女子大学、関東学院大学、相模女子大学、相模女子大学短期大学、横浜栄養専門学校、神奈川工科大学、文教大学

公衆衛生(行政)

食（栄養）を通してすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分：公2			
事業名称：研修事業			
事業内容の要旨			
事業の概要			
実施状況			
祝			
第1回研修会	公衆衛生業務に従事する管理栄養士・栄養士の資質向上のための研修 非会員可 関連職種可	災害時において行政栄養士として栄養・食生活支援を円滑に進めるため、JDA-DAT及び神奈川県の災害支援の役割・内容、これまででの災害支援の事例等を知り、行政栄養士相互の連携を強化することを目的に研修会を実施した。	開催年月日：令和6年5月25日(土) 会場：(公社) 神奈川県栄養士会事務局 (ライブ配信も含む) 講話：「災害時の食支援」 ～JDA-DAT (日本栄養士会災害支援センター) の災害支援の仕組みとその内容～ 講師：(公社) 神奈川県栄養士会 神奈川DAT部長 山田 恵子 氏 参加者：46名(会員46名 非会員0名)
第2回研修会 (研究教育事業部と共催)	公衆衛生業務に従事する管理栄養士・栄養士の資質向上のための研修。研究教育事業部と共催開催。 非会員可 関連職種可	災害時に求められる管理栄養士・栄養士の専門的な知識や技術等をさらに理解し、行政栄養士として栄養・食生活支援を円滑に進めるための一助として研修会を実施した。	開催年月日：令和6年12月14日(土) 会場：(公社) 神奈川県栄養士会事務局 (ライブ配信も含む) 講話：「災害時の食支援」 ～自治体栄養士および職場の勤務栄養士として知っておきたいこと～ 講師：(公社) 日本栄養士会 専務理事 下瀬佳之 氏 参加者：38名(会員38名 非会員0名)

地域活動

食(栄養)を通してすべての県民の健康増進(公衆衛生)に直接的に寄与することを目的とする事業			
事業区分(公1)	事業名称(健康づくり事業)	事業内容の要旨	事業の概要
定款上の根拠 第4条第1項1号、3号、5号			
応援します！げんき家族21	一般県民参加者に向けた公益活動事業	県民の健康づくりに関与一般県民参加者に向けた公益活動事業	会員が講師となり地域住民を対象に講座や調理実習等を開催。今回は海老浜地区、県央地区の2地区にて地域住民にむけて食育講話、調理実習を行った。県西地区では中井町の敬老会参加者にフレイムアンケータを実施しフレイム予防の栄養講話を実施。 県央地区では「更の料理教室」参加者に、自分で食事を献えられように、料理の作り方の体験を重視し、基本から学んでもらう料理教室を開催。健康講話の資料をフレイムに備えて配布した。大和町立総合中学校学校開放「下和田の郷」を運営する「長谷さんりん米の会」との共催。
学術の振興を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分(公2)	事業名称(研修事業)	事業内容の要旨	事業の概要
定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号			
第84回実力アップセミナー	管理栄養士・栄養士の資質向上 地域活動に従事する管理栄養士・栄養士を対象に専門職種として必要な学術、技術の質向上を目的に研修会を実施する 非会員可 関連職種可	地域において多様な県民の健康づくりや生活習慣病予防、疾病の重症化予防に係るため、栄養指導、調理指導の業務に対応できる技術の習得を伴い研修する。	開催年月日：2024年9月27日(日)13時30分～15時30分 会場：神奈川県栄養士会 会議室 ハイブリット開催 演題：腸活シリーズ 第1講 「栄養療法を学ぶ栄養士さんについて」 「栄養療法を学ぶ栄養士さんについて」 ～自身が受けた栄養療法をチームで考えてみませんか～ 講師：NPO法人日本コンテネンス協会 種子田 美穂子先生 参加者：59名(会員：59名・非会員：0名)
技術研修会	管理栄養士・栄養士の資質向上 県民の健康づくり、食生活指導に必要な技術を研修する 非会員可 関連職種可	地域において多様な県民の健康づくりや生活習慣病予防、疾病の重症化予防に係るため、栄養指導、調理指導の業務に対応できる技術の習得を伴い研修する。	開催年月日：2024年9月15日(日)10時～13時 会場：大和市文化創造拠点シリウス6階 調理実習室 演題：「腸活、飲み込む機能に配慮した食事」 ～らくらくとろみ付けと食料軟化のコツ～ 講師：地域栄養ケア PEACH厚木 代表 江頭 文江先生 参加者：33名(会員：33名)
第65回実力アップセミナー	管理栄養士・栄養士の資質向上 地域活動に従事する管理栄養士・栄養士を対象に専門職種として必要な学術、技術の質向上を目的に研修会を実施する 非会員可 関連職種可	地域において多様な県民の健康づくりや生活習慣病予防、疾病の重症化予防、低栄養予防、乳幼児健診等に關わるため、栄養指導の知識を広め、最新情報を研修する。	開催年月日：2024年11月17日(日)10時～12時 会場：神奈川県栄養士会 会議室 ハイブリット開催 演題：腸活シリーズ 第2講「おなか元気動室」～意外と知らないおなかの話～ 講師：ヤクルト 栄養おなかマスター 岩崎 友紀先生 参加者：48名(会員47名 会員外1名)
第66回実力アップセミナー	管理栄養士・栄養士の資質向上 地域活動に従事する管理栄養士・栄養士を対象に専門職種として必要な学術、技術の質向上を目的に研修会を実施する 非会員可 関連職種可	2024年度より、日本栄養士会では職域統合となり、地域活動事業協会と勤労者労働事業協会が、「フリースタンス・栄養関連企業等」となった。神奈川県栄養士会では、今後の職域統合に向けて情報提供と活動紹介をした。 会員により栄養士活動の取り組みを事例発表し、会員相互のスキルアップを図る。	開催年月日：2025年2月9日(日)14時～16時 会場：神奈川県栄養士会 会議室 ハイブリット開催 演題：「職域統合するのには何のため？」 講師提供：① リーダー研修会の伝達講習 ② 健康経営・健康保険組合の取り組み事例 ③ 健康経営について エキスパートアドバイザーとしての活動 ④ スマートミールの取り組み 参加者：40名(会員40名)

福祉

学術の振興を通して、間接的にすべての県民の健康増進に寄与することを目的とする事業			
事業区分(公2)	事業名称(研修事業)	事業内容の要旨	事業の概要
定款上の根拠 第4条第1項2号、4号、6号			
高齢福祉施設向けスキルアップセミナー(高齢者の食について研修)	高齢特性等を踏まえ、個別の栄養・食事に対応した栄養ケア・マネジメントに取り組みため、私たち専門職として必要なスキルを学ぶ。	令和6年度版介護職員初任者研修決定にともなう栄養士業務について、昨今の高齢者施設での給食管理の現状をふまえ、高齢者の生活の質の向上を支援し、対象者の咀嚼・嚥下の能力にあわせて、おいしい食事の考え方や提供方法、調理法のポイントを学んだ。	実施日時：令和6年11月30日(土) 会場：神奈川県栄養士会 会議室 講師：管理栄養士 増田邦子先生 演題：「おいしく食べる県下調整食を極める！Part2」 参加人数：会員26名
原宿福祉施設向けスキルアップセミナー(食育研修)	小川の栄養アセスメントから食事指導までの実践について、理解をして、現場に生かせる指導方法を学ぶ。	・乳幼児の「食」に関する基本的な知識から始まり、食べることの精神的な発達、偏食の原因とそのチェックポイント、偏食対応の基本、さらに実際の事例紹介。・部属の危険性について、実際に食事をと前衛を使ってどのような食育が危険であるかを体験し、食事中の姿勢や口や舌の動きがいかに重要であるかを学ぶ。	実施日時：令和7年3月2日(日) 会場：神奈川県栄養士会 会議室 講師：Mama,ラボ代表 平田 真向先生 演題：「こどものお口の発達と偏食対応を学ぶ」 参加人数：会員61名 非会員2名

事業報告の附属明細書

2024年度事業報告には、定款第42条第1項2号に「事業報告書の附属明細書」が規程されているが、当年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

収支計算書

2024年04月01日から2025年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	250	13,266	▲13,016	特定資産預金利息
特定資産運用収入計	250	13,266	▲13,016	
(2) 入会金収入				
入会金収入	200,000	304,000	▲104,000	304名×1000円
入会金収入計	200,000	304,000	▲104,000	
(3) 会費収入				
正会員会費収入	17,500,000	18,613,000	▲1,113,000	2659名×7000円
賛助会員会費収入	2,400,000	2,490,000	▲90,000	83社×30,000円
会費収入計	19,900,000	21,103,000	▲1,203,000	
(4) 事業収入				
研修事業収入	3,091,000	2,026,500	1,064,500	
栄養ケアステーション事業収入	800,000	561,707	238,293	
研修会等広告・展示収入	900,000	1,010,000	▲110,000	
事業収入計	4,791,000	3,598,207	1,192,793	
(5) 補助金収入				
地方公団助成金収入	100,000	160,000	▲60,000	委託事業
民間助成金収入	300,000	486,341	▲186,341	
補助金収入計	400,000	646,341	▲246,341	
(6) 負担金収入				
負担金収入	0	20,000	▲20,000	
負担金収入計	0	20,000	▲20,000	
(7) 雑収入				
受取利息収入	100	5,205	▲5,105	普通預金利息
雑収入	310,000	394,334	▲84,334	日本栄養士会手数料等
雑収入計	310,100	399,539	▲89,439	
事業活動収入計	25,601,350	26,084,353	▲483,003	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
給与手当支出	3,135,000	2,899,489	235,511	事務員給与
法定福利費支出	433,500	390,642	42,858	
退職給付支出	140,000	0	140,000	
旅費交通費支出	1,400,000	2,773,706	▲1,373,706	研修会運営、講師旅費等
通信運搬費支出	500,000	547,268	▲47,268	郵券代、宅急便代等
消耗品費支出	600,000	710,662	▲110,662	
印刷製本費支出	500,000	440,233	59,767	
光熱水料費支出	223,000	179,977	43,023	
賃借料支出	5,350,000	5,766,997	▲416,997	家賃、リース代、会場賃借費等
諸謝金支出	3,228,000	2,203,154	1,024,846	講師謝礼金等
負担金支出	346,000	315,075	30,925	
雑支出	47,000	6,257	40,743	
事業費支出計	15,902,500	16,233,460	▲330,960	
(2) 管理費支出				
給与手当支出	1,344,000	1,242,638	101,362	事務員給与
法定福利費支出	186,000	167,412	18,588	
退職給付支出	60,000	0	60,000	
会議費支出	20,000	6,070	13,930	
旅費交通費支出	1,200,000	891,272	308,728	理事会、委員会等
通信運搬費支出	1,458,500	1,641,693	▲183,193	会報誌等
消耗什器備品費支出	100,000	0	100,000	
消耗品費支出	527,000	631,271	▲104,271	
印刷製本費支出	1,517,000	1,524,745	▲7,745	
光熱水料費支出	95,500	77,133	18,367	
賃借料支出	1,985,000	1,682,707	302,293	家賃、リース代、会場費等
保険料支出	300,000	117,473	182,527	理事、事務員等保険
諸謝金支出	285,000	100,232	184,768	
負担金支出	50,000	35,000	15,000	
雑支出	200,000	266,310	▲66,310	日本栄養士会手数料、お祝い金等
委託費支出	1,075,000	468,104	606,896	
管理費支出計	10,401,000	8,852,060	1,548,940	
事業活動支出計	26,303,500	25,085,520	1,217,980	
事業活動収支差額	▲702,150	998,833	▲1,700,983	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
事務所設備管理資産取崩収入	0	550	▲550	残高証明代
特定資産取崩収入計	0	550	▲550	
投資活動収入計	0	550	▲550	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	0	201,444	▲201,444	預立金、特定資産利息
事務所設備管理資産支出	0	3,347	▲3,347	特定資産利息
記念事業積立資産支出	0	201,800	▲201,800	預立金、特定資産利息
事業安定化積立資産支出	0	5,038	▲5,038	特定資産利息
危機管理対策支援資産支出	0	1,637	▲1,637	特定資産利息
特定資産取得支出計	0	413,266	▲413,266	
投資活動支出計	0	413,266	▲413,266	
投資活動収支差額	0	▲412,716	412,716	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	▲702,150	586,117	▲1,288,267	
前期繰越収支差額	0	2,822,367	▲2,822,367	
次期繰越収支差額	▲702,150	3,408,484	▲4,110,634	

収支計算書に対する注記

2024年4月1日から2025年3月31日まで

公益社団法人 神奈川県栄養士会

1.資金の範囲

資金の範囲は、棚卸資産を除く流動資産及び短期借入金及び賞与引当金を除く流動負債とする。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2.次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	12,597,867	11,734,984
未収金	130,000	294,350
合 計	12,727,867	12,029,334
前受金	5,160,500	4,485,500
預り金	4,745,000	4,134,000
未払い金	0	1,350
合 計	9,905,500	8,620,850
次期繰越収支差額	2,822,367	3,408,484